

1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8

夢庵丁卯孟春為  
文海雅并 百首



夢庵の詩は、その清らかなる筆致と、自然に湧き出る情感と、  
古今東西の詩壇に数々の名作を残した。その代表作として、  
『夢庵詩集』が知られる。この詩集には、四季の風景、人情、  
自然の美などを詠じた詩が数多く収められている。その中でも、  
丁卯の孟春に詠じた詩は、その美しさと情感の豊かさに、  
多くの人々を魅了した。この詩は、夢庵の詩才の一端を窺う  
ことができる。以下に、この詩の全文を掲げる。



丁卯の孟春、夢庵の筆に、  
春の光景が、清らかに描き出される。その詩は、  
自然の美を、人間の情感と結びつけて、  
美しく表現している。その詩は、  
多くの人々を魅了した。以下に、  
この詩の全文を掲げる。

夢庵の詩は、その清らかなる筆致と、  
自然に湧き出る情感と、  
古今東西の詩壇に数々の名作を残した。その代表作として、  
『夢庵詩集』が知られる。この詩集には、  
四季の風景、人情、  
自然の美などを詠じた詩が数多く収められている。その中でも、  
丁卯の孟春に詠じた詩は、その美しさと情感の豊かさに、  
多くの人々を魅了した。この詩は、夢庵の詩才の一端を窺う  
ことができる。以下に、この詩の全文を掲げる。

